

■震災遺構中浜小学校 教職員研修アンケート 集計結果

実施日：7月15日(水)～16日(木)

研修参加数	108人
アンケート回答数	93人(86%)

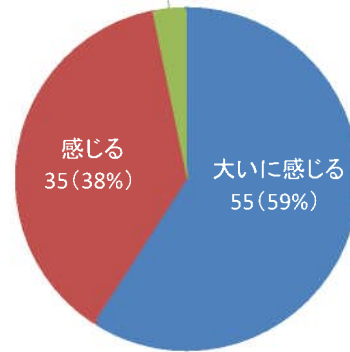
※教育委員会所属の町職員を除く

〔設問2〕企画内容

(1) 見学の内容は必要性を感じるものでしたか？

5	大いに感じる	55	59%
4	感じる	35	38%
3	どちらともいえない	3	3%
2	あまり感じない	0	0%
1	感じない	0	0%

どちらともいえない
3(3%)



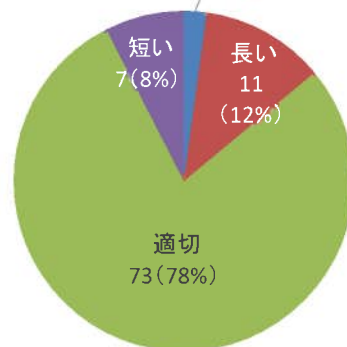
検証
結果

全体の9割以上が必要性を感じており、教職員向けの研修の場として、今後の活用が期待される。

(2) 内容に対し、時間は適切でしたか？(今回は60分程度)

5	長すぎる	2	2%
4	長い	11	12%
3	適切	73	78%
2	短い	7	8%
1	短すぎる	0	0%

長すぎる
2(2%)



検証
結果

全体の8割程度が、「60分程度の見学時間が適切」と回答している。運営側では効率のよい説明により、時間短縮を検討する必要がある。

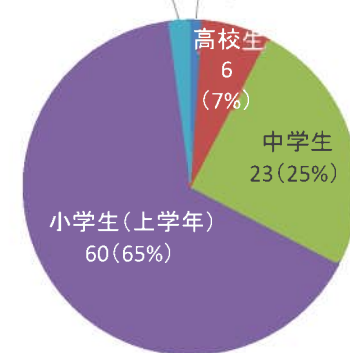
〔設問3〕施設見学

(1) 理解度はどの年代以上が適していますか？

5	大学生	1	1%
4	高校生	6	7%
3	中学生	23	25%
2	小学生(上学年)	60	65%
1	小学生(下学年)	2	2%

小学生(下学年)
2(2%)

大学生
1(1%)

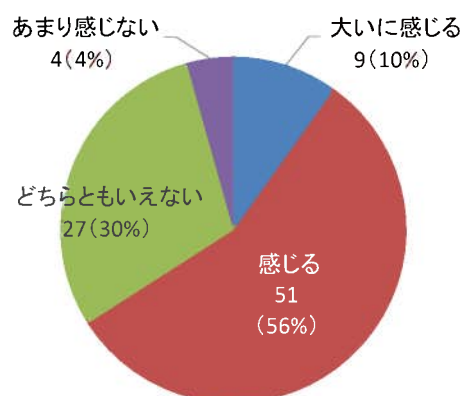


検証
結果

小学生(上学年以上=4年生以上)が適していると回答されていることから、下学年向けの工夫を今後検討していく必要がある。

(2)理解度を補完するため、ワークブックの配布は有効だと感じますか？

5	大いに感じる	9	10%
4	感じる	51	56%
3	どちらともいえない	27	30%
2	あまり感じない	4	4%
1	感じない	0	0%



検証結果 全体の7割弱が有効と感じており、見学後の振り返り学習への活用として、ワークブックの配布は妥当と考えられる。

(3)研修を通じて、子どもたちに何を伝えたいと思いましたか？

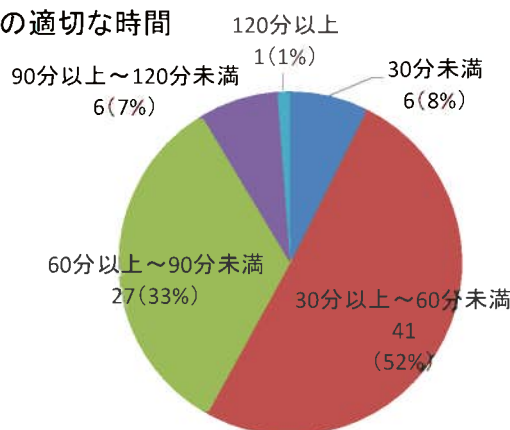
(特徴的な意見を抜粋)

- ・津波の怖さ、避難の重要性、防災の日ごろからの取り組み
- ・命の大切さ、人と人とのつながり
- ・周辺にはたくさんの家があり、たくさんの生活があったこと
- ・次の世代に語り継いでいくこと
- ・命を守るために何をすべきか
- ・現在までの関係者の方々の思い
- ・今の状況が当たり前ではないこと
- ・中浜小を建てた時の気概
- ・自然災害の脅威とそれを体験した人々の強さ
- ・今ここで地震が起こったらどうするかを考える習慣を身につけること

検証結果 小中学生への防災教育の場として、大いに活用できると受け止められたため、県内外からの教育旅行の誘致は十分に可能であると考えられる。

(4)-1 あなたが中浜小で防災教育を行う場合の適切な時間

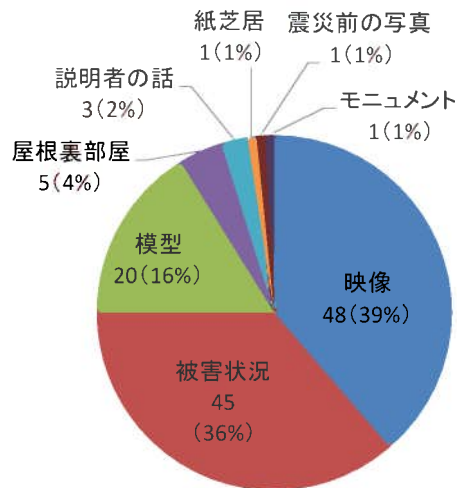
30分未満	6	7%
30分以上～60分未満	41	52%
60分以上～90分未満	27	33%
90分以上～120分未満	6	7%
120分以上	1	1%



検証結果 60分前後の時間が適切との回答が多いため、それに合わせた見学コースの設定が妥当であると考えられる。

(4)-2 あなたが中浜小で防災教育を行う場合、主に何を活用しますか？

映像	48	39%
被害状況	45	36%
模型	20	16%
屋根裏部屋	5	4%
説明者の話	3	2%
紙芝居	1	1%
震災前の写真	1	1%
モニュメント	1	1%

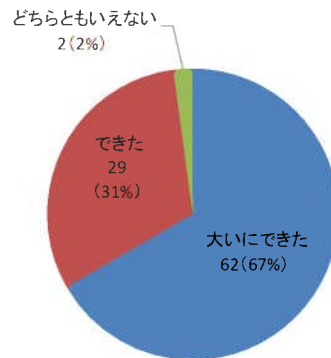


検証結果 映像は生の声を伝える重要なツールであることが分るとともに、インパクトのある屋根裏部屋の案内方法については、今後工夫の余地が残されている。

[設問4]施設の整備内容

(1)校舎1階で「津波被害の甚大さを知ること」はできましたか？

5	大いにできた	62	67%
4	できた	29	31%
3	どちらともいえない	2	2%
2	あまりできなかった	0	0%
1	できなかった	0	0%



検証結果 ほぼ全員ができたと回答しており、被害の状況をなるべくそのままの状態で見られるよう工夫した成果が結果に現れた形となった。

(2)校舎1階の印象はいかがでしたか？

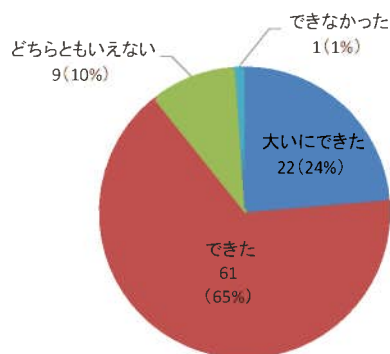
(特徴的な意見を抜粋)

- ・津波の大きさ、強さ、方向を感じる事ができた
- ・元の様子がわからないので比較できなかったが、被害の大きさは伝わった
- ・当時のことを思い出し、具合が悪くなりました
- ・当時の様子をできる限り残している点が印象的
- ・校舎東側の様子がもう少しみたかった
- ・貴重な空間だと感じた(実際に立ち入ることができるため)
- ・原爆ドームと同じく、震災を体験していない人にとっては、具体的に残っているほうが良いと感じた
- ・きれいに片付けられている部分が多いので、当時を知るものとしては物足りない

検証結果 自衛隊の清掃活動によって片付けられている部分があり、疑問に感じた人もいたため、衛生面を配慮した対応であったこと等の説明が必要と考えられる。

(3)校舎2階で「避難行動、事前の防災対策を考えること」はできましたか？

5	大いにできた	22	24%
4	できた	61	65%
3	どちらともいえない	9	10%
2	あまりできなかった	0	0%
1	できなかった	1	1%



検証
結果

9割程度ができたと回答しているが、ガイドの案内や力量によって伝わり方が異なると考えられる。

(4)校舎2階の印象(映像、展示物含む)はいかがでしたか？

(特徴的な意見を抜粋)

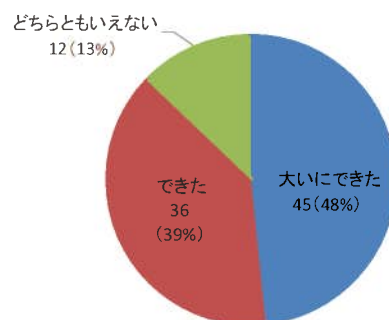
- ・映像はとても理解しやすく、よくできていると感じた
- ・旧まちなみの模型がよかった
- ・映像は抵抗があった
- ・家族を失った子どもには見せられないと思った
- ・1階と屋上の悲惨な様子の中に、展示物が整備された普通の空間があつてホッとした
- ・映像は避難行動の是非を問い、どのような行動をとるべきか考えるべきか、よいきっかけとなった
- ・よくできた映像と展示だった。教室側をもう少し見れるとよかった
- ・中学生ならしっかり学習に扱えると感じた
- ・津波の高さを知らせる工夫がされているのがよかった
- ・時系列でわかりやすかった。映像は訴えかけるものがあり、自身の防災意識を高めねばと感じた

検証
結果

映像の評価が高かった一方で、心のケアが必要な見学者には抵抗があるという意見もあった。再生前に口頭による説明を加えるべきと考えられる。

(5)屋上及び屋根裏倉庫で「震災当日の状況を体感すること」はできましたか？

5	大いにできた	45	48%
4	できた	36	39%
3	どちらともいえない	12	13%
2	あまりできなかった	0	0%
1	できなかった	0	0%



検証
結果

直接倉庫に入る見学方法であるため、9割以上が体感できたという回答だった。見学時の外気温やガイド内容によっては、体感しづらい場合もあると考えられる。

(6)校舎屋上の印象(屋根裏倉庫を含む)はいかがでしたか？

(特徴的な意見を抜粋)

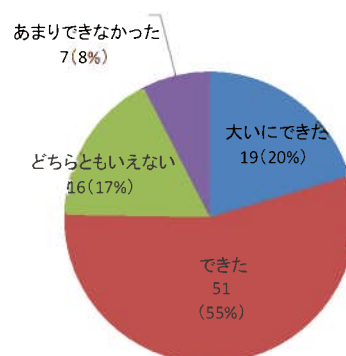
- ・当時のことを思いだして苦しくなった
- ・トイレの設置が印象に残った
- ・写真とは異なり、当時の緊張した空気を感じた(呼吸音がきこえてきそうだった)
- ・当時の様子をできる限り残している点が印象的
- ・防災関係物資は高いところに保管しておいたほうが良いと思った
- ・校舎の火災が発生したら逃げる場所がないと感じた
- ・時間の都合で通過するのみだった(語りべの方がどんな話をするのか興味あり)
- ・実際に現場を見ることは学びの上でとても大切なことだと思った
- ・少し暗くてはっきりと見えなかった
- ・一晩を過ごした子ども、教員、地域の人たちの心境を想像する活動を取り入れたい

検証
結果

体感できた意見が多かった一方で、暗くてあまり見えなかった、照明が必要との意見もあった。懐中電灯を持ちながらガイドするなどの工夫が必要と考えられる。

(7)震災モニュメント及びメモリアル広場で、「時間の流れを感じ、広い視点で震災を捉える」ことはできましたか？

5	大いにできた	19	20%
4	できた	51	55%
3	どちらともいえない	16	17%
2	あまりできなかった	7	8%
1	できなかった	0	0%



検証
結果

全体の7割以上ができたという回答だった。説明板は設置されているものの、ガイドや案内冊子による説明がないと伝わりづらい部分もあると考えられる。

(8)震災モニュメント及びメモリアル広場はいかがでしたか？

(特徴的な意見を抜粋)

- ・これから先の未来を感じることができるもので希望が見えた
- ・感じ方に個人差が大きいと感じた(小学生には難しいと思う)
- ・あまり重苦しくなることなく、いろいろな角度から考えることができる場所だと思った
- ・震災があったという事実と記憶を残しつつ、未来に向けた前向きさを感じることができた
- ・説明板の文字が小さくて見づらいついた人もいた
- ・時を感じるモニュメントはとてもよいと思った
- ・掲揚塔の高さが津波の高さと同じという話は子どもにもわかりやすく体感しやすいと思った
- ・感覚的に震災当時へ思いを馳せることができる素晴らしいモニュメントだと思った

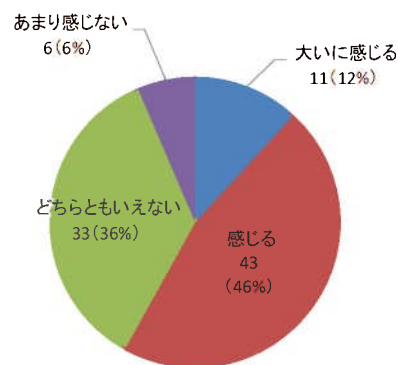
検証
結果

日時計が直感的に震災からの時間の経過を感じさせるものであるため、肯定的な意見が多かったが、小学生には少し難しいという意見もあった。

[設問5] 震災伝承について

(1) 世間の関心が低下していると感じますか？

5	大いに感じる	11	12%
4	感じる	43	47%
3	どちらともいえない	33	35%
2	あまり感じない	6	6%
1	感じない	0	0%



検証
結果

震災10年を目前に低下を感じる割合が6割程度に達した。阪神淡路大震災と同様に継続した震災伝承や防災学習の発信が必要と考えられる。

(2) 他の震災伝承施設を見学したことがあれば、施設名を記入してください。

(3) 他の震災伝承施設と中浜小を比べてどのように感じましたか？

(特徴的な意見を抜粋) ※全体の16%が何らかの震災伝承施設や震災遺構を見学

- ・中浜小は「防災」という観点が強く、次世代へ伝える必要性を感じた
- ・子どもが亡くなっていないためか中浜小は重い感じはない
- ・追体験というコンセプトが明確にあった

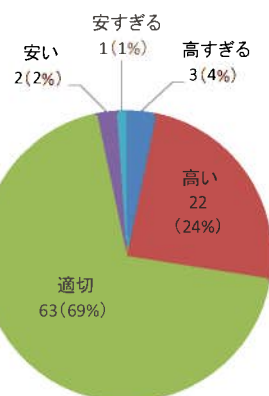
検証
結果

アンケート回答者の16%が他の施設見学をしていたが、大川小の見学者が多く、中浜小との比較では、「重い気持ちにならずに」見学できるという利点が見された。

[設問6] 入館料について

(1) 金額設定がいかがですか？

5	高すぎる	3	3%
4	高い	22	24%
3	適切	63	70%
2	安い	2	2%
1	安すぎる	1	1%

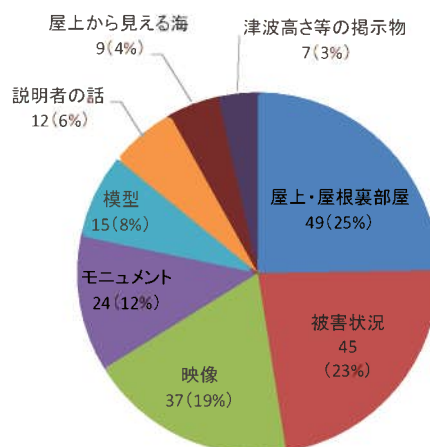


検証
結果

全体の7割が適切と回答しているが、今回の研修は「ガイド付き」であるため、ガイドなしの入館料としては、高いと感じる割合が多くなることも考えられる。

[設問7]研修で印象に残ったことやモノ、場所など

屋上・屋根裏部屋	49	40%
被害状況	45	36%
映像	37	30%
モニュメント	24	19%
模型	15	12%
説明者の話	12	10%
屋上から見える海	9	7%
津波高さ等の掲示物	7	6%
その他(階段,景色等)	14	11%



検証
結果

設問3(4)「何を主に活用して防災教育を行うか」と比較し、屋根裏倉庫の割合が相対的に高かった。倉庫内は印象に強く残るため、震災時の状況をそのまま残したことが功を奏した。

[設問8]管理運営や施設整備に関するアイデアがあれば自由に記述してください

(特徴的な意見を抜粋)

- ・来場者が自由に記述できるノートがあれば人と人とのつながりがみえるのではないかな
- ・屋根裏部屋を明るくして展示を明瞭にしたほうがよい
- ・貸し出し用のジャンパーなどがあるとよい
- ・小学生は無料でよい、語りべの人がいる時間帯があるとよい
- ・防災グッズを紹介する場所があるとよい
- ・当時の子どもたちの声があってもいいかも
- ・雨で外が滑りやすいため、清掃やゴムマットを敷くなどの対応が必要と感じた
- ・見学ルートは見学者の意見を取り入れながら更新していくといいと思う
- ・山下または坂元駅からバスが出ていけばいいのに

検証
結果

「当時の子どもたちの声」については心のケアの側面から慎重に検討し取り扱う必要がある。

[設問9]その他、ご意見があれば何でも結構ですので自由に記述してください

(特徴的な意見を抜粋)

- ・維持管理費の問題はあるが、学校の児童生徒の見学は一律無料だとよい
- ・心のケアが必要な人もいるため、研修は希望による参加の方がよかった
- ・震災遺構を残すか個人的には判断できなかったが、今回の研修で残すべきと強く感じた
- ・これまでは子どもたちに震災のことを触れずにいたが、何か始めなくてはいけないと感じた
- ・道路の案内表示が必要(国道から)
- ・元校長から話をきくことができ、貴重な体験となった

検証
結果

否定的な意見はなく、研修開催への感謝が多かった一方で、見学料を無料にとの意見があるなど、全体を通して多様な意見が寄せられた。

■震災遺構中浜小学校 町職員研修アンケート 集計結果

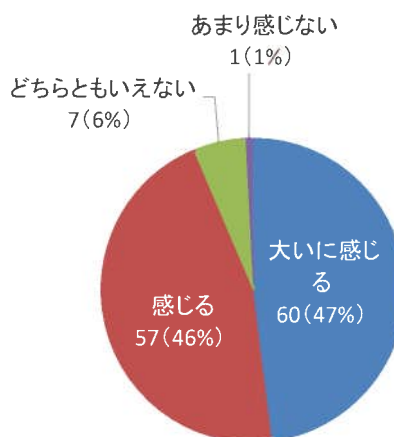
実施日：8月17日(月)～19日(木)

研修参加数	145人
アンケート回答数	125人 (86%)

〔設問1〕企画内容

(1) 見学の内容は必要性を感じるものでしたか？

5	大いに感じる	60	47%
4	感じる	57	46%
3	どちらともいえない	7	6%
2	あまり感じない	1	1%
1	感じない	0	0%

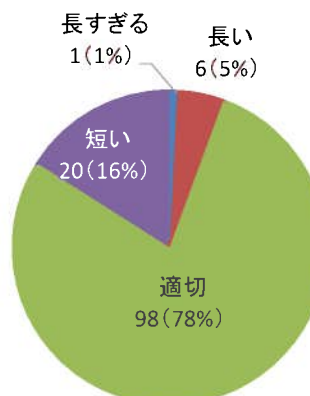


検証
結果

全体の9割以上が必要性を感じており、自治体職員の研修の場として、中浜小の今後の活用が期待される。

(2) 内容に対し、時間は適切でしたか？(今回は60分)

5	長すぎる	1	1%
4	長い	6	5%
3	適切	98	78%
2	短い	20	16%
1	短すぎる	0	0%



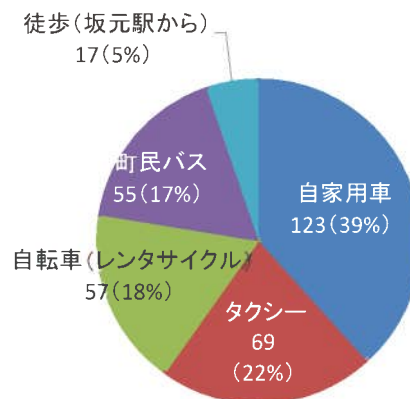
検証
結果

全体の8割程度が、「60分程度の見学時間が適切」と回答している。運営側では効率のよい説明により、時間短縮を検討する必要がある。

〔設問2〕施設見学

(1) 個人見学の場合の交通手段として有効なもの

自家用車	123	39%
タクシー	69	21%
自転車(レンタサイクル)	57	18%
町民バス	55	17%
徒歩(坂元駅から)	17	5%

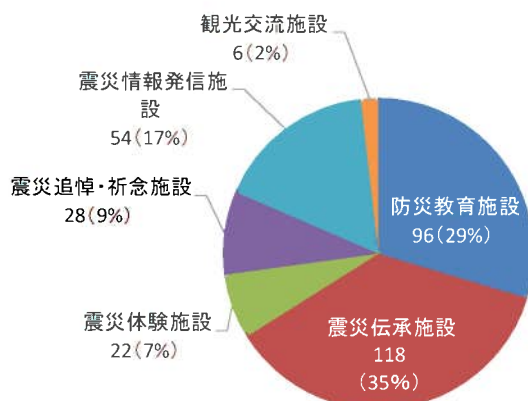


検証
結果

自転車(レンタサイクル)と町民バスを合わせた割合が4割程度となっている。今後、町民バスの停留所を設ける必要があるか検討を要する。

(2)施設の印象として考えられるもの

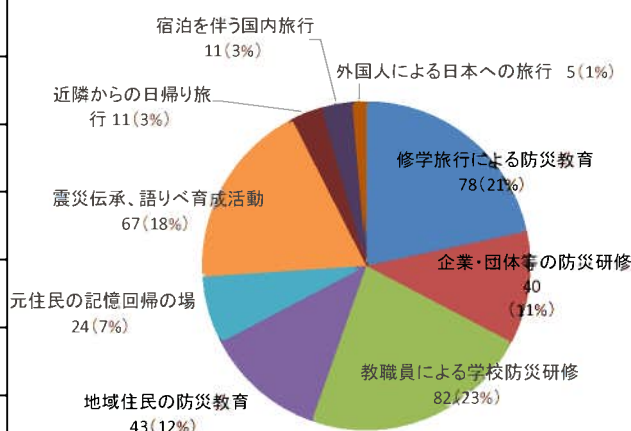
防災教育施設	96	30%
震災伝承施設	118	35%
震災体験施設	22	7%
震災追悼・祈念施設	28	9%
震災情報発信施設	54	17%
観光交流施設	6	2%
レジャー施設	0	0%
近代建築施設	0	0%



検証結果 防災教育、震災伝承施設としての割合が大きく、今後、同種の施設と連携を図ることで集客が増すと考えられる。

(3)どのような見学に役立つか

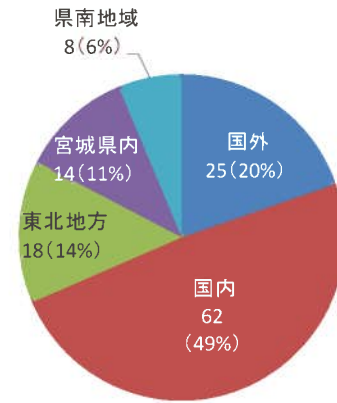
修学旅行による防災教育	78	21%
企業・団体等の防災研修	40	11%
教職員による学校防災研修	82	23%
地域住民の防災教育	43	12%
元住民の記憶回帰の場	24	7%
震災伝承、語りべ育成活動	67	19%
近隣からの日帰り旅行	11	3%
宿泊を伴う国内旅行	11	3%
外国人による日本への旅行	5	1%



検証結果 修学旅行や研修等での活用に役立つとの回答が半数以上の割合を占めており、団体見学の誘致に有利な施設であることが把握された。

(4) 中浜小学校に見学者を呼び込める範囲

5	国外	25	20%
4	国内	62	49%
3	東北地方	18	14%
2	宮城県内	14	11%
1	県南地域	8	6%

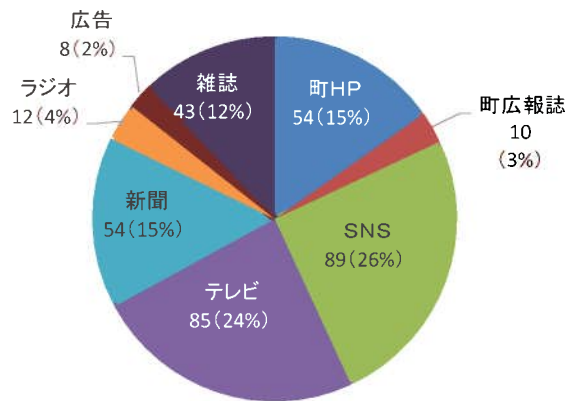


検証結果

国内から見学者を呼び込める施設であるという意見が約半数を占めている。広報戦略のほかコロナ禍後の国外誘致も視野に入れたい。

(5) 見学者を増やす取組として有効と思われる手段

町HP	54	15%
町広報誌	10	3%
SNS	89	26%
テレビ	85	24%
新聞	54	15%
ラジオ	12	3%
広告	8	2%
雑誌	43	12%

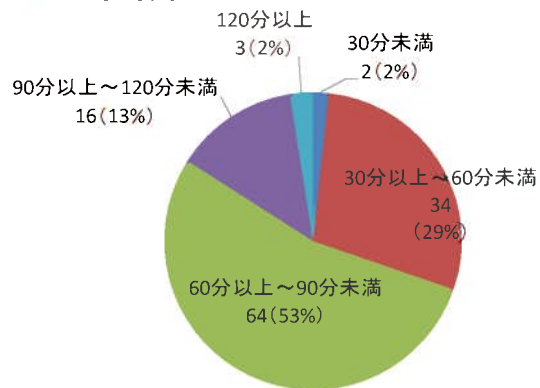


検証結果

テレビ、新聞等による広報戦略により、一定の集客効果につながっていると推測される。また、来館者によるSNS発信の効果も高いと思われる。

(6)-1 あなたが中浜小で防災教育を行う場合の適切な時間

30分未満	2	2%
30分以上～60分未満	34	29%
60分以上～90分未満	64	53%
90分以上～120分未満	16	13%
120分以上	3	3%

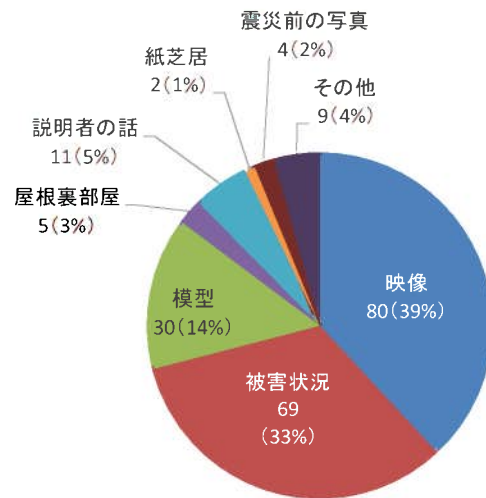


検証結果

60分前後の時間が適切との回答が多いため、それに合わせた見学コースの設定が妥当であると考えられる。

(6)-2 あなたが中浜小で防災教育を行う場合、主に何を活用しますか？

映像	80	39%
被害状況	69	33%
模型	30	14%
屋根裏部屋	5	2%
説明者の話	11	5%
紙芝居	2	1%
震災前の写真	4	2%
その他	9	4%

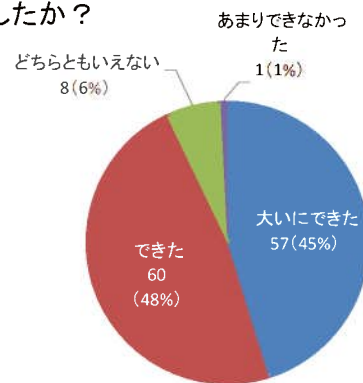


検証結果 映像は生の声を伝える重要なツールであることが分るとともに、インパクトのある屋根裏部屋の案内方法については、今後工夫の余地が残されている。

〔設問3〕施設の整備内容

(1) 校舎1階で「津波被害の甚大さを知ること」はできましたか？

5	大いにできた	57	45%
4	できた	60	48%
3	どちらともいえない	8	6%
2	あまりできなかった	1	1%
1	できなかった	0	0%



検証結果 ほぼ全員ができたと回答しており、被害の状況をなるべくそのままの状態で見られるよう工夫した成果が結果に現れた形となった。

(2) 校舎1階の印象はいかがでしたか？

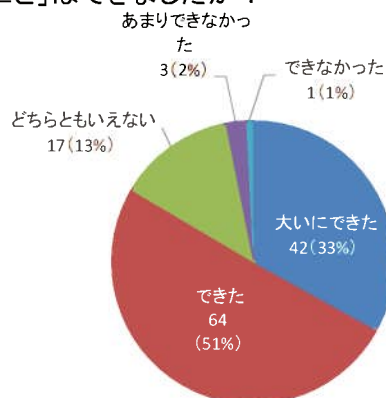
(特徴的な意見を抜粋)

- ・なるべくそのまま保存しているのが良かった。今後経年劣化もあると思うがそれが遺構だと思う
- ・安全面などで新設された部分分からない改修が、震災時の状況を物語るには工夫されている
- ・津波の方向は色々な向きからであり、実際に現地に行かないと絶対にわからない
- ・ある程度片付けられているため、実際の臨場感と異なる(自衛隊の清掃活動)
- ・説明板の写真が少し小さい気がしたが、致命的な問題とは思わなかった
- ・団体が多いと列になるため、後ろの人はガイドの声が聞こえづらい

検証結果 自衛隊の清掃活動によって片付けられている部分があり、疑問に感じた人もいたため、衛生面を配慮した対応であったこと等の説明が必要と考えられる。

(3)校舎2階で「避難行動、事前の防災対策を考えること」はできましたか？

5	大いにできた	42	33%
4	できた	64	51%
3	どちらともいえない	17	13%
2	あまりできなかった	3	2%
1	できなかった	1	1%



検証
結果

8割程度ができたと回答しているが、ガイドの案内や力量によって伝わり方が異なると考えられる。

(4)校舎2階の印象(映像、展示物含む)はいかがでしたか？

(特徴的な意見を抜粋)

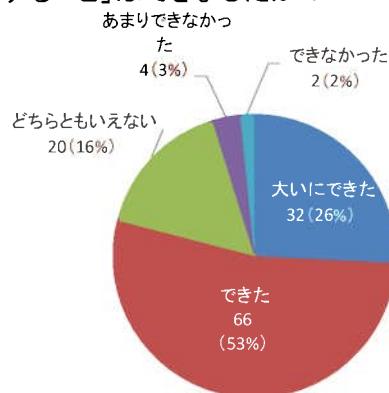
- ・見ているものに問いかける映像の作りが素晴らしかった
- ・映像が美化されておらず、あくまでも中立的に作成されていてよかった
- ・映像と展示物による相乗効果で避難行動の重要性を十分に理解できた
- ・過去の映像や模型での説明があり、子どもにもわかりやすい体験施設になると思った
- ・音楽室のイスが学校のもので、感情移入ができた
- ・パネルが時系列で整理されており、災害時にすべき行動や判断は何かを考えさせられた
- ・町民バスの映像は町民にとって貴重なもの
- ・震災前の模型の枠を津波高に合わせるなどの工夫があり、子どもにもわかりやすい
- ・様々な場所にある問いかけのメッセージが考えるきっかけ作りになっていて良かった
- ・当時の小学生のコメントがあるとなおよい

検証
結果

映像の評価が高かった一方で、心のケアが必要な見学者には抵抗があるという意見もあった。再生前に口頭による説明を加えるべきと考えられる。

(5)屋上及び屋根裏倉庫で「震災当日の状況を体感すること」はできましたか？

5	大いにできた	32	26%
4	できた	66	53%
3	どちらともいえない	20	16%
2	あまりできなかった	4	3%
1	できなかった	2	2%



検証
結果

直接倉庫に立ち入ることができるため、8割以上が体感できたという回答だった。見学時の外気温やガイド内容によっては、体感しづらい場合もあると考えられる。

(6)校舎屋上の印象(屋根裏倉庫を含む)はいかがでしたか？

(特徴的な意見を抜粋)

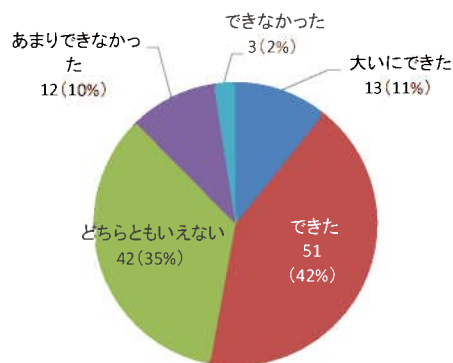
- ・怖い思いをしながら乗り越えた夜が想像できてよかった
- ・吹き抜けの防鳥ネットが津波高になっているなど工夫があった
- ・屋上は外からみるとわからない作りのため、行く価値がある
- ・映像を見てから屋上にいくことが大事(反対だとわかりづらい)
- ・屋上内での説明が最も重要と思われるが、そこをおろそかにするともったいない
- ・暗いとよくわからないため、電気をつけた状態と消した状態を比較できると思った
- ・当時のことを思いだして苦しくなった
- ・当時の児童に取材をしたほうがよりよい

検証
結果

体感できた意見が多かった一方で、暗くてあまり見えなかった、照明が必要との意見もあった。懐中電灯を持ちながらガイドするなどの工夫が必要と考えられる。

(7)震災モニュメント及びメモリアル広場で、「時間の流れを感じ、広い視点で震災を捉える」ことはできましたか？

5	大いにできた	13	11%
4	できた	51	42%
3	どちらともいえない	42	35%
2	あまりできなかった	12	10%
1	できなかった	3	2%



検証
結果

全体の約半数ができたという回答だった。説明板は設置されているものの、ガイドや案内冊子による説明がないと伝わりづらい部分もあると考えられる。

(8)震災モニュメント及びメモリアル広場はいかがでしたか？

(特徴的な意見を抜粋)

- ・津波がきたときの緊迫した状況と、日時計のゆったりとした時間の流れのギャップが良かった
- ・周りに何も無い状況を見てもらうためにも、モニュメントに方位盤があるのはよい
- ・腰掛けの色分けが中浜小の時間割になっているなど、子どもにもクイズ形式で考えられる
- ・ガイドがいなければ印象に残りづらい構造物に感じた
- ・石碑がそのまま転がっていたが、何らかの説明が必要ではないか
- ・広場にベンチがあればいいと思った

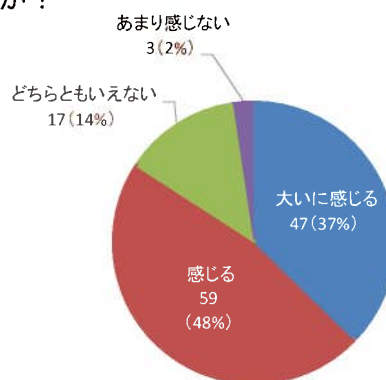
検証
結果

日時計が直感的に震災からの時間の経過を感じさせるものであるため、肯定的な意見が多かったが、説明がないとわからないという意見もあった。

〔設問4〕震災伝承について

(1) 中浜小学校を後世に残す取組が有効と感じますか？

5	大いに感じる	47	37%
4	感じる	59	48%
3	どちらともいえない	17	13%
2	あまり感じない	3	2%
1	感じない	0	0%



検証
結果

今後の防災教育の重要なテーマであるとともに、全国からの多くの心温まる支援に対するご恩返しにも資すると考えられる。

(2) 他の震災伝承施設を見学したことがあれば、施設名を記入してください。

(3) 他の震災伝承施設と中浜小を比べてどのように感じましたか？

(特徴的な意見を抜粋)

- ・中浜小は他の施設に比べ、「伝承」に加えて「防災教育」の色合いが強いと感じた
- ・中浜小は模型なども含めて手作り感があって楽しめた
- ・中浜小は他施設より規模が小さいが、内容は充実している
- ・津波のイメージがない海岸線の山元町に遺構を残す意味は大きい
- ・中浜小は被災建物に入れることや映像と模型を見た後に被災した地域を見渡せるため、視覚的に捉えやすい
- ・中浜小は過度な美化がなく、押しつけがましい教訓がないのがよい

検証
結果

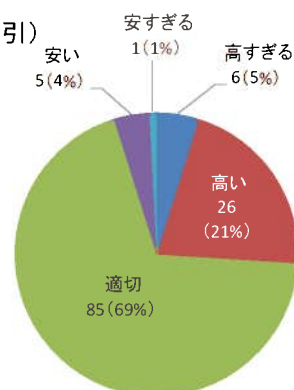
他の施設と比較して、中浜小の優位性をあげる意見が多かった。施設規模は小さいものの、十分に集客につなげられる施設であると思われる。

〔設問5〕入館料について

(1) 金額設定がいかがですか？

一般400円、高校生300円、小中学生200円(団体20人以上は100円引)

5	高すぎる	6	5%
4	高い	26	21%
3	適切	85	69%
2	安い	5	4%
1	安すぎる	1	1%

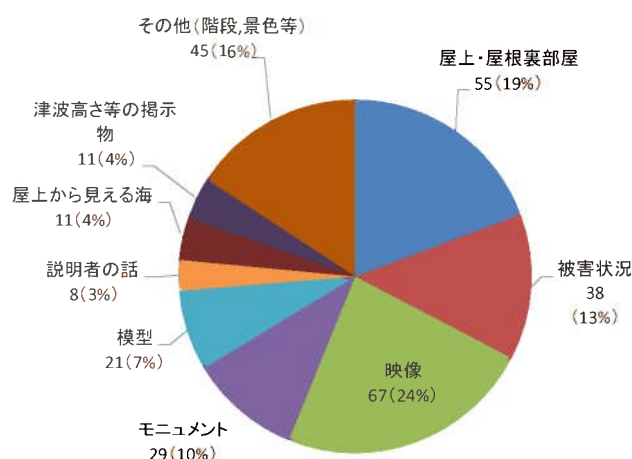


検証
結果

全体の7割が適切と回答しているが、今回の研修は「ガイド付き」であるため、ガイドなしの入館料としては、高いと感じる割合が多くなることも考えられる。

〔設問6〕研修で印象に残ったことやモノ、場所など

屋上・屋根裏部屋	55	19%
被害状況	38	13%
映像	67	24%
モニュメント	29	10%
模型	21	7%
説明者の話	8	3%
屋上から見える海	11	4%
津波高さ等の掲示物	11	4%
その他(階段,景色等)	45	16%

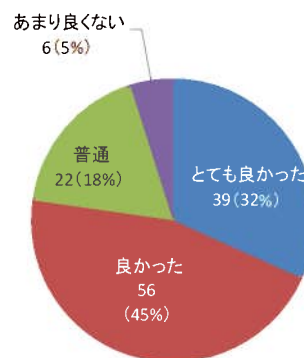


検証結果 屋上・屋根裏倉庫の割合が高く、印象に強く残ることから十分な説明を行うことが求められる。映像については、問を投げかけ、考えさせることをコンセプトにしたことが奏功したと考えられる。

〔設問7〕見学ガイドについて

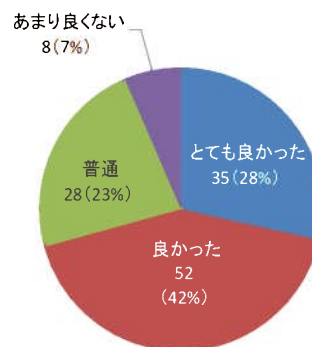
(1) ガイド対応した職員の印象

5	とても良かった	39	32%
4	良かった	56	45%
3	普通	22	18%
2	あまり良くない	6	5%
1	良くない	0	0%



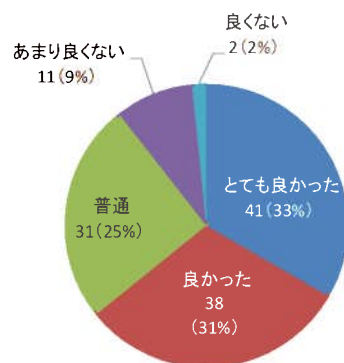
(2) 説明のわかりやすさ

5	とても良かった	35	28%
4	良かった	52	42%
3	普通	28	23%
2	あまり良くない	8	7%
1	良くない	0	0%



(3) 聞き取りやすさ(声の大きさ、速度など)

5	とても良かった	41	33%
4	良かった	38	31%
3	普通	31	25%
2	あまり良くない	11	9%
1	良くない	2	2%



検証
結果

ガイドの力量に差があることが把握された。見学者の満足度に直結すると考えられるため、スキルアップに向けた訓練を行う必要がある。

[設問8]その他、ご意見があれば何でも結構ですので自由に記述してください。

(特徴的な意見を抜粋)

- ・維持管理費を考慮し、長期的な将来計画を策定する必要があると感じた
- ・VRで当時の状況がみれるとよい
- ・地元住民の記憶回帰のために年間パスポートを用意してはどうか
- ・夢いちごとの連携を図るため、割引券の発行やいちご狩りとのコラボも有効
- ・見学ガイドが当時何をしていたか、自己紹介としてはじめに話すとよい
- ・ガイドさんの反復訓練が足りないと感じたためがんばってほしい
- ・ガイドの声が小さすぎて何を伝えたいのかわからなかった
- ・ガイドがタブレットなどで被災前の写真を見せながら説明するとういと思う
- ・ガイド対応の最後に質問時間があるとよい
- ・案内ガイドの数を増やし、若い世代が受け継ぐ育成にも力をいれるべき
- ・オンラインへの対応が必要

検証
結果

観光面での連携やオンラインへの対応、ガイド方法に関することなど多様な意見が寄せられた。順次検討をはじめていく必要がある。